

研究機関：広島大学

研究課題名	食道表在がんに対する食道 ESD 後の狭窄のリスク因子に関する研究
研究責任者名	広島大学病院消化器・代謝内科 教授 岡 志郎
研究期間	2022 年 8 月 30 日(倫理委員会承認後)～2024 年 12 月 31 日
対象者	2010 年 1 月から 2020 年 12 月の間に、広島大学病院消化器代謝内科で食道表在癌に対して内視鏡的粘膜下層剥離術による治療を受けられた患者さん。
意義・目的	食道表在がんに対して内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）施行後の、狭窄予防法としてのステロイド投与の効果は、明らかになっていますが、ステロイドを投与したにもかかわらず、難治性食道狭窄をきたすリスク因子についてはまだ解明されていません。今回、食道表在がんの ESD 後に狭窄予防のためステロイドを投与した症例の食道狭窄の有無を解析することで、難治性食道狭窄のリスク因子を明らかにできると考え、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、内視鏡所見と臨床経過です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学病院消化器・代謝内科 教授 岡 志郎
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5939 広島大学病院消化器・代謝内科 教授 岡 志郎 (研究責任者) 消化器内視鏡医学講座 准教授 卜部 祐司 (担当者)